

三心を磨く

学校だより NO. 17
平成28年10月12日(水)発行
須坂市立 東 中学校
文責：輿 幸雄(教頭)
<http://www.azuma-school.ed.jp/>

実りの秋! 授業・家庭学習に力を入れていきます!



12日(水)の朝、全校集会で学習オリエンテーションがありました。

学習係の職員から、これからの社会では、次のような人が求められているというお話がありました。

- ① 他人と協同しながら、未来を切り開くことができる人
 - ② 社会の変化に対応できる人
- そして、「未来を担うために～東中が目指すもの～」としてこれからの学習について説明がありました。

未来を担うために～東中が目指すもの～

これまでのことの確認とこれからの学習について保護者の皆様や地域の方々にもお知らせします。

1 授業の重点(授業の五原則より)

・重点1

授業の1分前には席に着き、チャイムで授業が始まるように、授業の準備をしよう。

・重点2

説明や発表を1回で聞けるように、話している人の方を向いて聞こう。

2 協同的な学び

・3～4人グループの学習やコの字型での全体の話し合いが増えます。

・話し合いや聞き合いが増えます。聞かれたら答えるのがルールです。

・グループで何か一つにまとめるのではなく、自分の考えが深まり、高まり、広がるのが目的です。



協同的な学びのイメージ(静岡県掛川市立大須賀中学校)

☆協同的な学びの作法

- ・わからなくなったら仲間に「教えて」と恥ずかしくなくきく。
- ・きかれたら、自分のアイデアを惜しみなく伝え、相手が納得するまで繰り返し説明する。

3 協同的な学び2

- ・共有の課題
授業や単元の100%課題。
- ・ジャンプの課題
思考力・判断力・表現力を伸ばす課題（ゴールにたどり着けなくても過程が大事）。
説明を書いてまとめる学習が増えます（アウトプット型）。
- ・課題の例（国語の場合）
 - 共有の課題
「いつ・どこで・だれが」を読みとり、詩に描かれた情景をとらえよう。
 - ジャンプの課題
詩に描かれた情景を想像しながら、イメージ豊かに朗読しよう。

4 家庭学習の充実

- ・授業で学習したことから、家庭学習の課題が出ます。
- ・次の授業の最初に確認のドリルテストがあります。
- ・家庭学習をやりたくてもできない人のために、学年ごとにサポートします。
（朝学習・放課後学習）

5 自主学習の導入

- ・休日（土・日や祝日）の課題は、自主学習になります。
1・2年生は1日2ページ以上。3年生は1日3ページ以上。
まず、今週末スタートは国語・社会・理科。他の教科も、加わっていきます。
- ※「斜面ノート」を、全文写し書きすると1ページ分になります。（貼って感想だけは不可）

6 定期テスト

- ・授業や家庭学習の課題と関連した出題をします。
- ・思考力・判断力・表現力を問う活用問題を30%以上は出題します。
- ・テストを評価の場から、自信をつける場に変えます。質問に答えたり、補習をしたりします。

新しい東中学校の学習にご理解をお願いいたします！

「ああ、今日もがんばったな。」と生徒たちが実感できるように、これまでの取り組みに加え、さらに授業や家庭学習を充実させてまいります。

右の写真は普通教室に設置していただいたプロジェクターとスクリーンで社会科のデジタル教科書を活用して授業をしている場面です。東中学校では、電子黒板やパソコンを活用した授業も今後進めてまいります。

